

[平成21年度設置]

計画の区分：高等専門学校

注1

意見伺い

富山高等専門学校

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人国立高等専門学校機構
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	総務課長 広瀬浩一 ヒロセコウイチ
電話番号	076-493-5490
（夜間）	076-493-5490
F A X	076-492-3859
e-mail	s-kacho@nc-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象高専等の概要等	1
	(1) 設置者	
	(2) 高専名	
	(3) 高専の位置	
	(4) 管理運営組織	
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	
2	授業科目の概要	13
	(1) 一般教養科 (工学系4学科)	
	(2) 一般教養科 (国際ビジネス学科)	
	(3) 一般教養科 (商船学科)	
	(4) 機械システム工学科	
	(5) 電気制御システム工学科	
	(6) 物質化学工学科	
	(7) 電子情報工学科	
	(8) 国際ビジネス学科	
	(9) 商船学科	
3	施設・設備の整備状況, 経費	48
4	既設高専等の状況	50
5	教員組織の状況	51
	(1) 機械システム工学科	
	(2) 電気制御システム工学科	
	(3) 物質化学工学科	
	(4) 電子情報工学科	
	(5) 国際ビジネス学科	
	(6) 商船学科	
	(7) 一般教養科	
6	留意事項に対する履行状況等	52
7	その他全般的事項	54
	(1) 設置計画変更事項等	
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	
	(4) 情報公表に関する事項	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高専名

富山高等専門学校

(3) 高専の位置

(本部・本郷キャンパス)

〒939-8630

富山県富山市本郷町13番地

(射水キャンパス)

〒933-0293

富山県射水市海老江練合1-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(コウノ イイチロウ) 河野 伊一郎 (平成17年8月10日)	(コバタケ ヒデフミ) 小畑 秀文 (平成24年4月1日) (ハヤシ ユウジロウ) 林 勇二郎 (平成21年4月1日)	理事長の交替 平成24年4月1日 (24)
校長		(ヨネダ マサアキ) 米田 政明 (平成21年10月1日)	(22)
機械システム 工学科長		(テラニシ ツネノブ) 寺西 恒宣 (平成21年10月1日)	(22)
電気制御シス テム工学科長		(ニシダ ヒトシ) 西田 均 (平成21年10月1日)	(22)
物質化学工学 科長		(ヤスダ ケンセイ) 安田 賢生 (平成24年4月1日) (ゴトウ ミチマサ) 後藤 道理 (平成22年4月1日)	学科長の交替 平成24年4月1日 (24)

電子情報工学 学科長		(ツカダ アキラ) 塚田 章 (平成23年4月1日) (ミズモト イワオ) 水本 巖 (平成21年10月1日)	学科長の交替 平成23年4月1日 (23)
国際ビジネス 学科長		(ハセガワ ヒロシ) 長谷川 博 (平成21年10月1日)	(22)
商船学科長		(ミカミ ヒロシ) 見上 博 (平成21年10月1日)	(22)
一般教養科長		(タテノ アキラ) 立野 彰 (平成24年4月1日) (カナガワ キンジ) 金川 欣二 (平成23年4月1日) (マツイ シンイチロウ) 松井 紳一郎 (平成21年10月1日)	学科長の交替 平成24年4月1日 (24) 学科長の交替 平成23年4月1日 (23)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
機械システム工学科	5	40	—	200	
電気制御システム工学科	5	40	—	200	
物質化学工学科	5	40	—	200	
電子情報工学科	5	40	—	200	
国際ビジネス学科	5	40	—	200	
商船学科	5.6	40	—	200	
(準学士)					

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

機械システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 40 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 40 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 40 () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	1.05倍	
志願者数	90 (-) [-]	- (-) [-]	75 (-) [-]	- (-) [-]	101 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
受験者数	90 (-) [-]	- (-) [-]	74 (-) [-]	- (-) [-]	100 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
合格者数	41 (-) [-]	- (-) [-]	40 (-) [-]	- (-) [-]	71 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
B 入学者数	40 (-) [-]	- (-) [-]	40 (-) [-]	- (-) [-]	47 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.17							

電気制御システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 40 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 40 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 40 () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	人 - () []	1.02倍	
志願者数	64 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]	113 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
受験者数	63 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]	112 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
合格者数	41 (-) [-]	- (-) [-]	41 (-) [-]	- (-) [-]	82 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
B 入学者数	40 (-) [-]	- (-) [-]	40 (-) [-]	- (-) [-]	43 () []	- (-) []	() (-) []	() (-) []	() (-) []	(-) (-) []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.07							

物質化学工学科

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 (-) [-]	-	40 (-) [-]	-	40 (-) [-]	-					1.06倍	
志願者数	100 (-) [-]	-	82 (-) [-]	-	191 (-) [-]	-						
受験者数	99 (-) [-]	-	81 (-) [-]	-	188 (-) [-]	-						
合格者数	40 (-) [-]	-	40 (-) [-]	-	101 (-) [-]	-						
B 入学者数	40 (-) [-]	-	40 (-) [-]	-	48 (-) [-]	-						
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.20							

電子情報工学科

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	-	40人 (-) [-]	-	40人 (-) [-]	-					1.02倍	
志願者数	216 (-) [-]	-	186 (-) [-]	-	153 (-) [-]	-						
受験者数	214 (-) [-]	-	183 (-) [-]	-	150 (-) [-]	-						
合格者数	85 (-) [-]	-	67 (-) [-]	-	89 (-) [-]	-						
B 入学者数	43 (-) [-]	-	39 (-) [-]	-	41 (-) [-]	-						
入学定員超過率 B/A	1.07		0.97		1.02							

国際ビジネス学科

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	人	人	人	人	1.12倍	
志願者数	177 (-) [-]	-	195 (-) [-]	-	205 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
受験者数	174 (-) [-]	-	191 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
合格者数	92 (-) [-]	-	94 (-) [-]	-	95 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
B 入学者数	47 (-) [-]	-	38 (-) [-]	-	50 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.17		0.95		1.25							

商船学科

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	40人 (-) [-]	人	人	人	人	人	1.01倍	
志願者数	89 (-) [-]	-	79 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
受験者数	88 (-) [-]	-	78 (-) [-]	-	87 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
合格者数	47 (-) [-]	-	45 (-) [-]	-	46 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
B 入学者数	44 (-) [-]	-	41 (-) [-]	-	37 (-) [-]	-	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]	() (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.1		1.02		0.92							

(注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留學生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留學生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留學生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数**で算出してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械システム工学科

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 40	[-] -	[-] 41	[-] -	[-] 47	[-] -	[]	[]	[]	[]	※ 平成23年度1年次 在学者には留年者1名 を含む ※ 平成23年度2年次 在学者には転学科1名 を含む ※ 平成24年度2年次 在学者には留年者1名 を含む ※ 平成24年度3年次 在学者には転学科1名 を含む ※ 平成24年度3年次 在学者にはマレーシア 政府派遣留学生1名を 含む(3年次受入)
2年次			[-] 40	[-] -	[-] 41	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[1] 39	[-] -	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次									[]	[]	
計	[-] 40	[-]	[-] 81	[-]	[1] 127	[-]	[]	[]	[]	[]	

電気制御システム工学科

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 40	[-] -	[-] 40	[-] -	[-] 43	[-] -	[]	[]	[]	[]	※ 平成23年度2年次 在学者には転学科1名 を含む ※ 平成24年度3年次 在学者には国費留学生 1名を含む(3年次受 入)
2年次			[-] 41	[-] -	[-] 39	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[1] 40	[-] -	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次									[]	[]	
計	[-] 40	[-]	[-] 81	[-]	[1] 122	[-]	[]	[]	[]	[]	

物質化学工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 40	[-] -	[-] 40	[-] -	[-] 48	[-] -	[]	[]	[]	[]	※平成24年度3年次在学者には転学科1名を含む ※平成24年度3年次在学者にはマレーシア政府派遣留学生1名を含む(3年次受入)	
2年次	/		[-] 40	[-] -	[-] 40	[-] -	[]	[]	[]	[]		
3年次			/		/		[1] 40	[-] -	[]	[]		[]
4年次							/		/			[]
5年次			/		/							[]
計	[-] 40	[-] 80					[1] 128	[]	[]	[]	[]	

電子情報工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 39	[-] -	[-] 41	[-] -	[]	[]	[]	[]	※平成23年度2年次在学者には転学科1名を含む ※平成24年度3年次在学者には転学科2名を含む	
2年次	/		[-] 44	[-] -	[-] 39	[-] -	[]	[]	[]	[]		
3年次			/		/		[-] 46	[-] -	[]	[]		[]
4年次							/		/			[]
5年次			/		/							[]
計	[-] 43	[-] 83					[-] 126	[]	[]	[]	[]	

国際ビジネス学科

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 47	[-] -	[-] 38	[-] -	[-] 50	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次			[-] 47	[-] -	[-] 37	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-] 47	[-] -	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次									[]	[]	
計	[-] 47		[-] 85		[-] 134		[]	[]	[]	[]	

商船学科

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 44	[-] -	[-] 41	[-] -	[-] 37	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次			[-] 45	[-] -	[-] 45	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-] 40	[-] -	[]	[]	[]	[]	※平成23年度2年次在学者には転学科1名を含む
4年次							[]	[]	[]	[]	※平成24年度2年次在学者には留年者4名を含む
5年次									[]	[]	
計	[-] 44		[-] 86		[-] 122		[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況
機械システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	40 人	3 人	平成22年度	人	人	進路変更のため	7.5 %
			平成23年度	3 人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	40 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	47 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	127 人	3 人					2.4 %

電気制御システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	40 人	1 人	平成22年度	人	人	進路変更のため	2.5 %
			平成23年度	1 人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	40 人	1 人	平成23年度	1 人	人	進路変更のため	2.5 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	43 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	123 人	2 人					1.6 %

物質化学工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	40 人	2 人	平成22年度	人	人	進路変更のため	5 %
			平成23年度	2 人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	40 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	48 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	128 人	2 人					1.6 %

電子情報工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	39 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	41 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	123 人	0 人					0 %

国際ビジネス学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	47 人	0 人	平成22年度	人	人		0.0% %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	38 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	進路変更	2.6% %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	50 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0% %
合 計	135 人	1 人					0.7% %

商船学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	44 人	0 人	平成22年度	人	人		0.0% %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	41 人	0 人	平成23年度	人	人		0.0% %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	37 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0% %
合 計	122 人	0 人					0.0% %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<一般教養科（工学系4学科）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	総合国語IA	1前		2		2	2 +				兼1	教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため兼任講師を追加(23)
	総合国語IB	1後		2		2	2 +				兼1	教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
	総合国語II	2通		2		2 +	2					昇任による変更及び教育体制充実のため教員を追加(23)
	総合国語III	3通		2		1	1				兼2 兼1	教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24)
	国語表現	4前		1		1 2					兼1	退職による変更及び教育体制充実のため兼任教員を追加(23)
	日本文学講読	5前		1		1	1 2					昇任による変更(23)
	歴史I	1通		2		2					兼3 兼2	教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
	歴史II	2通		2		2 +					兼2	教育体制充実のため教員を追加(23)
	歴史学I	4前		1		2						
	歴史学II	4後		1		2						
	倫理	2通		2		1	1				兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	哲学I	4前		1			1					
	哲学II	4後		1			1					
	政治・経済	3通		2							兼3 兼2	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	経済学I	4前		1		1					兼1	
	経済学II	4後		1		1					兼1	
	法学	5前		1							兼2	
	基礎数学A I	1前		2		2 +	3 2 +	+			兼2 兼3 兼2	昇任による変更(24) 兼任講師の退職による変更及び教育体制充実のため教員を追加(23) 退職及び教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(22)
	基礎数学A II	1後		2		1	2 +	+			兼2	昇任及び教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	基礎数学B	1通		2		3 2	1	+			兼3 兼1	退職及び昇任による変更及び教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(23) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	数学演習	1前 1通		1		2 +	1	+			兼3 兼2	教育効果を考慮し開講時期を前学期に変更(24) 退職、昇任による変更及び教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(23) 退職及び教育体制充実のため教員を追加(22)

般
科
目

微分積分学	2通		4		2 ±	1 ±	±			兼1	教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
線形代数	2通		2		1	3 2 ±	±			兼3 兼2 兼4	昇任及び教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(23)
解析学	3通		4		2 ±	3 ±	±			兼1	昇任及び教育体制充実のため教員を追加(24) 昇任による変更(23)
総合数学	3後		1		2	2 ±	±			兼2	昇任並びに教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24) 昇任及び後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
数学特講I	4前		1		±	1	± ±			兼1	昇任による変更(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
数学特講II	4後		1		±	1	± ±			兼1	昇任による変更(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
統計学	4前		1			2 ±	± ±				昇任による変更(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
物理学I(*)	1通	[3]	(2)		1	1				兼1	教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
物理学II	2通		2		1	1				兼1	教育体制充実のため兼任講師を追加(23)
物理学III	3前		1		1	1				兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
化学I(*)	1通	(3)	[2]		2					兼4	兼任講師の退職による変更(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
化学II	2通		2		2						
保健	1後 1前		1		1	1	±			兼2	教育効果を考慮し開講時期を後学期に変更及び昇任による変更(24) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
体育I	1通		2		2 ±	2 ±	±			兼5 兼3	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23) 教育体制充実のため常勤教員及び兼任講師を追加(22)
体育II	2通		2		2	2 ±	±			兼6 兼4	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23)
体育III	3通		2		2	2 ±	±			兼3	昇任による変更並びに教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24)
体育IV	4前		1		2						
体育V	5前		1		2						
音楽	1後		1							兼2	
美術	1後		1							兼2	
書道	1後		1							兼2	

一般科目	総合英語I	1通	3		2 ±	3 ±				兼2 兼3 兼2	兼任教員退職に伴い専任教員を補充したため(24) 教育体制充実のため教員を追加(23) 教育体制充実のため兼任教員を追加(22)	
	総合英語II	2通	3		4 ±	2 ±				兼1	教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24) 昇任及び教育体制充実のため教員を追加(23)	
	総合英語III	3通	3		3 ±	1 ±					教育体制充実のため教員を追加(24) 昇任による変更(23)	
	総合英語IV	4前	1		1	1						
	総合英語V	4後	1		1	1						
	英語表現I	1通	2		2 ±	2 ±					兼1 兼2 兼1	教育体制充実のため教員を追加及び兼任教員の退職のため(24) 教育体制充実のため教員を追加(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
	英語表現II	2通	2		3 ±	1					兼2 兼1	教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23)
	英語表現III	3通	2			2 ±					兼3 兼1	教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24)
	英会話I	1通	1		1						兼3 兼2	教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(22)
	英会話II	2通	1			1					兼2	
	英会話演習I	4前	1								兼2	
	英会話演習II	4後	1								兼2	
	英語演習I	4前	1		1						兼1	
	英語演習II	4後	1		1						兼1	
	英語演習III	5前	1			1					兼1	
	環日本海諸国語I(中国語)	4前	1		1							
	環日本海諸国語I(韓国語)	4前	1								兼1	
	環日本海諸国語I(ロシア語)	4前	1			1						
	環日本海諸国語II(中国語)	4後	1		1							
	環日本海諸国語II(韓国語)	4後	1								兼1	
	環日本海諸国語II(ロシア語)	4後	1			1						
	環日本海諸国語III(中国語)	5前	1		1							
	環日本海諸国語III(韓国語)	5前	1								兼1	
	環日本海諸国語III(ロシア語)	5前	1			1						
	英語圏異文化実習	3・4・5	3				1				兼1	集中
	環日本海諸国異文化実習	3・4・5	3				1				兼3	集中
	海洋フィールドエンジニアリング	3前・4前・5前	1								兼9 兼8 兼9	後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 64	科目 0	科目 69	科目 5	科目 64	科目 0	科目 69	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<一般教養科（国際ビジネス学科）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般 科 目	総合国語ⅠA	1前・後 1前	2			1						兼1 兼任講師の退職による変更(23) 教育効果を考慮し開講時期を前・後学期に変更, 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
	総合国語ⅠB	1前・後 1後	2			1	1					教育体制充実のため教員を追加(23) 教育効果を考慮し、開講時期を前・後学期に変更(22)
	総合国語Ⅱ	2通		2		1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	総合国語Ⅲ	3通		2		1	1					教育体制充実のため教員を追加(24)
	国語表現	4後		1			1					
	日本文学講読	5前		1			1					
	歴史Ⅰ	1通		2		1						兼1 教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	歴史Ⅱ	2通		2		1						兼1 教育体制充実のため教員を追加(23)
	歴史学Ⅰ	4前		1		1						
	歴史学Ⅱ	4後		1		1						
	地理	1通		2		1			1			教育体制充実のため教員を追加(22)
	倫理	2通		2		1						兼1 教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	哲学Ⅰ	4前		1			1					
	哲学Ⅱ	4後		1			1					
	政治・経済	3通		2		1						兼1 教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	経済学Ⅰ	4前		1		1						
	経済学Ⅱ	4後		1		1						
	法学	5前		1								兼1
	数学Ⅰ	1通		2			1		1			兼2 兼1 昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
	数学Ⅱ	2通		2								兼2 兼1 教育体制充実のため兼任講師を追加(23)
数学Ⅲ	3通		2		1						兼1 教育体制充実のため兼任教員を追加(24)	
理科Ⅰ	1通		2		1						兼1 兼任講師の退職による変更(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)	
理科Ⅱ	2通		2		1							
保健	1通 1前		1			1		1			兼1 昇任による変更(24) 教育効果を考慮し開講時期を通年に変更、教育体制充実のため兼任講師を追加(22)	
体育Ⅰ	1通		2		1	1		1			兼3 昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23)	

体育Ⅱ	2通		2		1	1	1			兼3	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員 及び兼任講師を追加(23)
体育Ⅲ	3通		2		1	1	1			兼1	昇任による変更並びに教 育体制充実のため専任教 員及び兼任教員を追加 (24)
体育Ⅳ	4前		1		1						
体育Ⅴ	5前		1		1						
音楽	1後		1							兼1	
美術	1後		1							兼1	
書道	1後		1							兼1	
総合英語Ⅰ	1通	2								兼1 兼2 兼1	兼任教員退職のため(24) 教育体制充実のため兼任 講師を追加(22)
総合英語Ⅱ	2通	2				2	1				教育体制充実のため教員 を追加(24)
総合英語Ⅲ	3通	2				2	1				教育体制充実のため教員 を追加(24)
総合英語Ⅳ	4前		1			1					
総合英語Ⅴ	4後		1			1					
総合英語Ⅵ	5前		1			1					
総合英語Ⅶ	5後		1			1					
英語表現Ⅰ	1通		2			1				兼1	兼任教員退職のため(24) 教育体制充実のため教員 を追加(23)
英語表現Ⅱ	2通		2			1				兼1	教育体制充実のため兼任 講師を追加(23)
英会話Ⅰ	1通		4			2				兼1	兼任教員退職のため(24) 教育体制充実のため兼任 講師を追加(22)
英会話Ⅱ	2通		4			2					
英会話Ⅲ	3通		2			3	2				教育体制充実のため教員 を追加(24)
英会話Ⅳ	4前		1			1				兼1	
英会話Ⅴ	4後		1			1				兼1	
グローバル・リテラシー	3前		1		7	5	2			兼1	
環日本海諸国語Ⅰ(中国語)	1通		2		1						
環日本海諸国語Ⅰ(韓国語)	1通		2							兼1	
環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語)	1通		2			1					
環日本海諸国語Ⅱ(中国語)	1通		2		1						
環日本海諸国語Ⅱ(韓国語)	1通		2							兼1	
環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)	1通		2			1					
環日本海諸国語Ⅲ(中国語)	2通		4		1					兼1	教育体制充実のため兼任 講師を追加(23)
環日本海諸国語Ⅲ(韓国語)	2通		4							兼1	
環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	2通		4			1					
環日本海諸国語Ⅳ(中国語)	3通		4		1						
環日本海諸国語Ⅳ(韓国語)	3通		4							兼1	
環日本海諸国語Ⅳ(ロシア語)	3通		4			1					
言語学Ⅰ	4前		1		1						
言語学Ⅱ	4後		1		1						
海洋フィールドエンジニアリング	3前・4 前・5前		1							兼9 兼8 兼9	後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公 募中)(22)

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 58	科目 0	科目 62	科目 4	科目 58	科目 0	科目 62	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<一般教養科（商船学科）>

(1) 授業科目表

(用紙 日本工業規格 A 4 縦型)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	総合国語ⅠA	1前・後 1前		2		1						教育効果を考慮し、開講時期を前・後学期に変更(22)	
	総合国語ⅠB	1前・後 1後		2		1	1				兼1	兼任講師の退職及び教育体制充実のため教員を追加(23) 教育効果を考慮し開講時期を前・後学期に変更、教育体制充実のため兼任講師を追加(22)	
	総合国語Ⅱ	2通		2		1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)	
	総合国語Ⅲ	3通		2		1	1					教育体制充実のため教員を追加(24)	
	国語表現	4前		1		1							
	日本文学講読	5前		1			1						
	歴史Ⅰ	1通		2		1						兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	歴史Ⅱ	2通		2		1						兼1	教育体制充実のため教員を追加(23)
	歴史学Ⅰ	4前		1		1							
	歴史学Ⅱ	4後		1		1							
	地理	1通		2		1	1	1					昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	倫理	2通		2		1						兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	哲学Ⅰ	4前		1			1						
	哲学Ⅱ	4後		1			1						
	政治・経済	3通		2		1						兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	経済学Ⅰ	4前		1		1							
	経済学Ⅱ	4後		1		1							
	法学	5前		1								兼1	
	基礎数学AⅠ	1前	2				1	1				兼1	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	基礎数学AⅡ	1後	2				1	1				兼1	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
基礎数学B	1通	2			1						兼1	教育体制充実のため兼任講師を追加(22)	
微分積分学	2通		4		1		1				兼1	教育体制充実のため教員を追加(24) 兼任教員による後任補充(23) 退職による変更(後任公募中)(22)	
線形代数	2通		2			1					兼2 兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)	
解析学	3通		4		1								
統計学	3前		1			1	1				兼1	昇任による変更及び教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)	

総合数学	3後 3前		1			1	1 1		兼1	教育効果を考慮し開講時期を後学期に変更並びに昇任による変更及び教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
数学特講 I	4前		1			1	1 1			昇任による変更(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
数学特講 II	4後		1			1	1 1			昇任による変更(24) 後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)
物理学 I	1通	2				1				
物理学 II	2通		2			1				
物理学 III	3前		1			1				
化学 I	1通		2		1				兼1	兼任講師の退職による変更(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
化学 II	2通		2		1					
保健	1通 1前		1		1				兼1	教育効果を高めるため開講時期を通年に変更。教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
体育 I	1通		2		1	1	1		兼3	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23)
体育 II	2通		2		1	1	1		兼3	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員及び兼任講師を追加(23)
体育 III	3通		2		1	1	1		兼1	昇任による変更並びに教育体制充実のため専任教員及び兼任教員を追加(24)
体育 IV	4前		1		1					
体育 V	5前		1		1					
音楽	1後		1						兼1	
美術	1後		1						兼1	
書道	1後		1						兼1	
総合英語 I	1通		3		1	1			兼1 兼2 兼1	兼任教員退職のため(24) 教育体制充実のため教員を追加(23) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
総合英語 II	2通		3		1	1				教育体制充実のため教員を追加(23)
総合英語 III	3通		2			1			兼1	兼任教員から専任教員に変更したため(24)
総合英語 IV	4前		1		1					
総合英語 V	4後		1		1					
総合英語 VI	5前		1		1					
英語表現 I	1通		2			1			兼1 兼2 兼1	兼任教員退職に伴い専任教員を補充したため(24) 教育体制充実のため兼任講師を追加(22)
英語表現 II	2通		2			1			兼1	教育体制充実のため兼任講師を追加(23)
英語表現 III	3通		2			1			兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
英会話 I	1通		1						兼2	
英会話 II	2通		1						兼2	

英会話演習Ⅰ	4前		1							兼1	
英会話演習Ⅱ	4後		1							兼1	
英語演習Ⅰ	4前		1							兼1	
英語演習Ⅱ	4後		1							兼1	
英語演習Ⅲ	5前		1							兼1	
環日本海諸国語Ⅰ(中国語)	4前		1		1						
環日本海諸国語Ⅰ(韓国語)	4前		1							兼1	
環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語)	4前		1			1					
環日本海諸国語Ⅱ(中国語)	4後		1		1						
環日本海諸国語Ⅱ(韓国語)	4後		1							兼1	
環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)	4後		1			1					
環日本海諸国語Ⅲ(中国語)	5前		1		1						
環日本海諸国語Ⅲ(韓国語)	5前		1							兼1	
環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	5前		1			1					
英語圏異文化実習	3・4・5		3			1				兼1	集中
環日本海諸国異文化実習	3・4・5		3			1				兼3	集中
海洋フィールドエンジニアリング	3前・4前・5前		1							兼9 兼8 兼9	後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 66	科目 0	科目 70	科目 4	科目 66	科目 0	科目 70	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<機械システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	1前	3			1	1		1		昇任による変更及び教育体制充実のため教員を追加(22)
	技術者倫理入門	1後	1								兼1
	情報基礎	1後	1				1				
	工業力学Ⅰ	2前	1				1		1		退職による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23) 昇任による変更(22)
	工作実習Ⅰ	2前	1			1			1		
	基礎工学実験Ⅰ	2後	1			2	1				教育体制充実のため教員を追加(23)
	工業力学Ⅱ	2後		1			1		1		昇任による変更(22)
	工業力学演習	2後		1			1		1		昇任による変更(22)
	機械製図	2通		2			1	1			昇任による変更(23)
	実践ものづくり工学	2後		1		1			1		
	情報処理Ⅰ	2前		1			1				
	基礎材料工学Ⅰ	3前	1				2	1			昇任による変更(23)
	材料力学Ⅰ	3前	1			1			1		教育体制充実のため教員を追加(24)
	熱力学Ⅰ	3後	1				1				
	工作実習Ⅱ	3通	2			1					
	基礎工学実験Ⅱ	3通	2			1	2	1	1	2	昇任による変更(23)
	エネルギー機械	3前		1		1					
	応用物理Ⅰ	3通		2		1					
	基礎材料工学Ⅱ	3後		1			2	1	1		昇任による変更(23)
	材料力学Ⅱ	3後		1		1			1		教育体制充実のため教員を追加(24)
	製造と加工Ⅰ	3後		1		2	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	機構学	3前		1		1					
	設計製図	3後		1		1					
	情報処理Ⅱ	3前		1			1				
	流体工学Ⅰ	4前	1				1				
	基礎研究	4後	1			6	6	5	4	1	2
システム工学実験Ⅰ	4前	1			4						
システム工学実験Ⅱ	4後	1			1	1					
熱力学Ⅱ	4前		2		1						
応用数学Ⅰ	4前		1							兼1	
応用数学Ⅱ	4後		1							兼1	
電気・電子回路	4前		1							兼1	
機械計測工学	4後		1		1						
材料力学Ⅲ	4前		1		1						
システム設計	4前		1		1	1					

専 門 科 目	実用技術英語 I	4前		1		2 ±	1				昇任による変更(23)
	製造と加工 II	4前		1	1	1					
	鉄鋼材料	4前		1	1						
	材料分析工学	4後		1				1			
	流体工学 II	4後		1		1					
	非鉄金属材料	4後		1	1						
	機械力学	4後		1	1						
	プログラミング基礎	4後		1				1			
	応用数学 III	4後		1		2					
	応用物理 II	4前		1		1					
	材料プロセス	4後		1	1						
	伝熱工学	4後		1	1						
	反応熱力学	4後		2		1					
	要素設計	4後		1	1						
	インターンシップ	4前		2	1						(学外)集中
	安全工学	5前	1		1						
	システム工学実験 III	5前	1		1	3 2		1			昇任による変更(22)
	卒業研究	5通	10		6	6 5 4	1	2 3			昇任による変更(23) 昇任による変更(22)
	制御工学 I	5前		1							兼1
	材料物性 I	5前		1				1			
	実用技術英語 II	5前		1		2					
	環境強度 I	5前		1	1						
	シミュレーション工学	5後		1				1			
	生産・品質管理	5前		1	1						
	応用数学 IV	5前		1							兼1
	振動工学	5前		2	1						
	材料物性 II	5後		2				1			
	環境強度 II	5後		1		1					
	有機材料	5後		1		2 ±	1				昇任による変更(23)
	流体機械	5前		1		1					
熱機関	5前		1	1							
制御工学 II	5後		1							兼1	
強度設計	5前		1	1	1						
製造と加工 III	5前		1	1			1				
応用プログラミング	5後		1				1				
材料強度学	5後		1		1						
機械システム工学特論	5後		1	6	6 5 4	1	2 3			昇任による変更(23) 昇任による変更(22)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、

赤字で見え消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 54	科目 0	科目 72	科目 18	科目 54	科目 0	科目 72	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<電気制御システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	1 前	3			3 2	1				兼1	教育体制充実のため教員及び兼担講師を追加(22)
	技術者倫理入門	1 後	1								兼1	
	情報基礎	1 後	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	基礎電気工学	2 通	2			3 1						教育体制充実のため教員を追加(23)
	情報処理	2 通	2				2 1		1			教育体制充実のため教員を追加(23) 昇任による変更(22)
	設計製図 I	2 通	2				2 1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	ものづくり工学	2 後	1				1					
	基礎工学実験	2 通	2			1	2 1				1	教育体制充実のため教員を追加(23) 退職による変更(22)
	システム工学実験 I	3 通	2			8 6	7 6		1 1		1	昇任による変更及び教育体制充実のため教員を追加(24) 昇任及び退職による変更(22)
	基礎工学演習	3 前		1		1						
	応用物理 I	3 後		1			1					
	電気磁気学 I	3 通		2		1						
	電気回路 I	3 通		2			2					
	コンピュータサイエンス	3 通		2		2						
	設計製図 II	3 通		2		1	1					昇任による変更(24)
	工業力学	3 通		2			1					
	メカトロ基礎工学	3 通		2			2					
	システム工学実験 II	4 通	2			7 6	6 7 6		1		1	昇任による変更(24) 昇任及び退職による変更(22)
	応用数学 I	4 前		1			1					
	応用数学 II	4 後		1			1					
	応用物理 II	4 前		1			1					
	応用数学 III	4 後		1		1						
	工業英語 I	4 前		1		1						
	電気磁気学 II	4 前		1		1						
	電気磁気学 III	4 後		1		1						
	電気回路 II	4 前		2			1					
	電気回路 III	4 後		1			1					
電気機械 I	4 後		2		1							
電子回路 I	4 前		1		1							
電子回路 II	4 後		1		1							
計算機システム I	4 前		1			1						
計測工学 I	4 後		1		1							
制御工学 I	4 前		1		1							

制御工学Ⅱ	4 後		1	1						
機械力学Ⅰ	4 後		2		1					
流体力学	4 後		1	1						
熱力学	4 前		1						兼1	
機械工作法	4 後		1		1					
材料力学Ⅰ	4 前		2		1		±			昇任による変更(22)
材料力学Ⅱ	4 後		1	1						
メカトロ創造設計	4 通		2	2 ±	±			±		昇任による変更(24) 退職による変更(22)
インターンシップ	4 前		2	1					(学外)	集中
基礎研究	4 後		1	7 6	6 7 6			±		昇任による変更(24) 昇任による変更(22)
システム工学実験Ⅲ	5 前	1		7 6	6 7 6			±	±	昇任による変更(24) 退職及び昇任による変 更(22)
卒業研究	5 通	10		7 6	6 7 6			±		昇任による変更(24) 昇任による変更(22)
応用数学Ⅳ	5 前		1	1						
工業英語Ⅱ	5 前		1	1						
電気材料	5 前		2	1						
電気機械Ⅱ	5 前		2	1						
パワーエレクトロニクス	5 後		1		1					
電子工学Ⅰ	5 前		1		1					
電子工学Ⅱ	5 後		1		1					
通信工学	5 後		2		1					
計算機システムⅡ	5 前		1	1						
計測工学Ⅱ	5 後		1	1						
制御工学Ⅲ	5 前		1	1	±					昇任による変更(24)
シミュレーション工学	5 後		2	1						
システム工学	5 後		1	1						
ロボット工学Ⅰ	5 前		1		1		±			昇任による変更(22)
ロボット工学Ⅱ	5 後		1		1					
機械力学Ⅱ	5 前		2	1	±					昇任による変更(24)
流体制御工学	5 後		1	1						
エネルギー変換工学	5 前		1	1						
CAD/CAM工学	5 後		2							兼1
材料学	5 前		2							兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。そ
で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え
修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてくださ
い。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては
「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場
には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認
以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば
赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 53	科目 0	科目 65	科目 12	科目 53	科目 0	科目 65	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<物質化学工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ものづくり基礎工学実験	1前	3			2 ±	2 ±		1		退職による変更及び教育体制充実のため教員を追加(22)
	技術者倫理入門	1後	1			2 ±	1				教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	情報基礎	1後	1			1	1		1		教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	分析化学実験	2通	3				2 ±		2 ±		教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	有機化学Ⅰ	2後		1		2 ±					教育体制充実のため教員を追加(23)
	無機化学Ⅰ	2通		2		1			1		教育体制充実のため教員を追加(23)
	分析化学Ⅰ	2前 2後 2前		1		1	1				教育効果を考慮し、開講時期を前学期に変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	生物学	2前		1			1	±			昇任による変更(23)
	情報処理Ⅰ	2後		1		1					
	有機化学実験	3後	2			1	1		1		教育体制充実のため教員を追加(24)
	無機化学実験	3後 3前	2			1	1		1		教育効果を考慮し開講時期を後学期に変更(24)
	物理化学実験	3前	2			1	2				
	特別実験	3通	1			7	6 5	±	3 ±		教育体制充実のため教員を追加(24) 昇任による変更(23)
	有機化学Ⅱ	3前		1		1					
	分析化学Ⅱ	3前		1			1		1		教育体制充実のため教員を追加(24)
	基礎化学工学	3通		2		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	基礎生物化学	3通		2		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	無機化学Ⅱ	3前		1		1					
	物理化学Ⅰ	3通		2			2 ±				教育体制充実のため教員を追加(24)
	化学工学実験	4後	2				2				
	生物化学実験	4前	2			1	1	±			昇任による変更(23)
	基礎研究	4後	1			7	6 5	±	1		昇任による変更(23)
	応用数学Ⅰ	4前		1							兼1
	応用数学Ⅱ	4後		1							兼1
	応用物理Ⅰ	4前		1		1					
	有機化学Ⅲ	4前		1		1					
有機工業化学	4後		2			1					
無機工業化学	4後		2			1					
無機化学Ⅲ	4前		1		1						
化学工学Ⅰ	4前		1			1					

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 57	科目 0	科目 69	科目 12	科目 57	科目 0	科目 69	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<電子情報工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	1前	3			2	1		2 ±	1	兼1 教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(23)
	技術者倫理入門	1後	1			1	1				兼1 教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	情報基礎	1後	1				1		±		昇任による変更(24)
	基礎電気Ⅰ	2前	1				1				
	基礎電気Ⅱ	2後	1				1				
	計算機システム	2前	1			1					
	論理回路	2後	1			1					
	プログラミングⅠ	2前	1			1					
	プログラミングⅡ	2後	1			1					
	工学演習Ⅰ	2通	1				2 ±				教育体制充実のため教員を追加(23)
	電子情報工学実験Ⅰ	2通	2			5	8 7 6		±	1	昇任による変更(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	電子情報工学実験Ⅱ	3通	3			5	7 6		1	1	兼1 教育体制充実のため教員及び兼任教員を追加(24)
	応用物理Ⅰ	3前		1			2		±		昇任による変更及び教育体制充実のため教員を追加(24)
	応用物理Ⅱ	3後		1			1				
	電気回路Ⅰ	3前		1		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	電気回路Ⅱ	3後		1		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	電子回路Ⅰ	3前		1			2 ±				教育体制充実のため教員を追加(24)
	電子回路Ⅱ	3後		1			2 ±				教育体制充実のため教員を追加(24)
	プログラミングⅢ	3後		1		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	計算機構成論Ⅰ	3前		1		1					
	計算機構成論Ⅱ	3後		1		1					
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	3前		1		1					
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	3後		1		1					
	情報数学Ⅰ	3後		1			2 ±				教育体制充実のため教員を追加(24)
	工学演習Ⅱ	3前		1		1	1				教育体制充実のため教員を追加(24)
	電子情報工学実験Ⅲ	4通	3			5	7 6		±	1	昇任による変更(24)
	応用数学Ⅰ	4前		1		±				1	教員の死亡による変更(22)
	応用数学Ⅱ	4後		1		±				1	教員の死亡による変更(22)
	応用物理Ⅲ	4前		1		±				1	教員の死亡による変更(22)
	応用物理Ⅳ	4後		1		±				1	教員の死亡による変更(22)
電気磁気学Ⅰ	4前		1		1						
電気磁気学Ⅱ	4後		1		1						
電気回路Ⅲ	4前		1		1						
センサ工学	4後		1		1						

電子システムⅠ	4前		1		1					
電子システムⅡ	4後		1		1					
電子通信工学Ⅰ	4前		1		1					
電子通信工学Ⅱ	4後		1		1					
通信システムⅠ	4前		1		1					
通信システムⅡ	4後		1		1					
オペレーティングシステムⅠ	4前		1		1					
オペレーティングシステムⅡ	4後		1		1					
デジタル信号処理Ⅰ	4前		1		1					
デジタル信号処理Ⅱ	4後		1		1					
数値計算	4後		1		1					
情報数学Ⅱ	4前		1		1					
創造工学設計Ⅰ	4前		2		1					
創造工学設計Ⅱ	4後		2		1					
インターンシップ	4前		2		1				(学外)	集中
卒業研究	5通	10			5	7 6		±	1	昇任による変更(24)
応用数学Ⅲ	5前		2		±			1		教員の死亡による変更(22)
応用数学Ⅳ	5後		2		±			1		教員の死亡による変更(22)
技術英語	5前		1		3	2				
電子デバイス	5後		1		1					
制御工学Ⅰ	5前		1		1			±		昇任による変更(24)
制御工学Ⅱ	5後		1		1			±		昇任による変更(24)
電子回路Ⅲ	5前		1		1					
電子回路Ⅳ	5後		1		1					
コンピュータ計測Ⅰ	5前		1		1					
コンピュータ計測Ⅱ	5後		1		1					
電波工学	5前		1		1					
応用電磁システム	5後		1		1					
情報ネットワークⅠ	5前		1		1					
情報ネットワークⅡ	5後		1		1					
ソフトウェア工学Ⅰ	5前		1		1					
ソフトウェア工学Ⅱ	5後		1		1					
メディア工学Ⅰ	5前		1		1					
メディア工学Ⅱ	5後		1		1					
計算工学Ⅰ	5前		1		1					
計算工学Ⅱ	5後		1		1					
情報理論	5前		1		1					

専
門
科
目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。そので、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 57	科目 0	科目 71	科目 14	科目 57	科目 0	科目 71	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<国際ビジネス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	商学概論Ⅰ	1前	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(22)
	商学概論Ⅱ	1後	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	情報基礎Ⅰ	1前	1							1		
	情報基礎Ⅱ	1後	1							1		
	情報基礎演習Ⅰ	1通	1							1		
	物流概論Ⅰ	2前	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	物流概論Ⅱ	2後	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(23)
	マーケティング論Ⅰ	2前		1			1					
	マーケティング論Ⅱ	2後		1			1					
	会計学概論Ⅰ	2前	1			1	1					昇任による変更(22)
	会計学概論Ⅱ	2後	1			1	1					昇任による変更(22)
	情報基礎Ⅲ	2前		1						1		
	情報基礎Ⅳ	2後		1						1		
	情報基礎演習Ⅱ	2通		1		2	1			1		教育体制充実のため教員を追加(24) 教育体制充実のため教員を追加(23)
	英語演習Ⅰ	3前	1				1				兼1	教育体制充実のため教員を追加(24)
	英語演習Ⅱ	3後	1				1				兼1	教育体制充実のため教員を追加(24)
	流通データ分析Ⅰ	3前		1						1		
	流通データ分析Ⅱ	3後		1						1		
	財務会計論Ⅰ	3前		1		1	1					昇任による変更(22)
	財務会計論Ⅱ	3後		1		1	1					昇任による変更(22)
	経済学概論Ⅰ	3前	1				1			1		後任補充による変更(24) 退職による変更(後任公募中)(23)
	経済学概論Ⅱ	3後	1				1			1		後任補充による変更(24) 退職による変更(後任公募中)(23)
	法学概論Ⅰ	3前	1			1						
	法学概論Ⅱ	3後	1			1						
	経営学概論Ⅰ	3前	1				1					
	経営学概論Ⅱ	3後	1				1					
	環日本海社会経済史Ⅰ	3前	1				1					
	環日本海社会経済史Ⅱ	3後	1				1					
環日本海諸国語演習Ⅰ(中国語)	3前		1			1						
環日本海諸国語演習Ⅰ(韓国語)	3前		1		1							
環日本海諸国語演習Ⅰ(ロシア語)	3前		1			1						
環日本海諸国語演習Ⅱ(中国語)	3後		1			1						
環日本海諸国語演習Ⅱ(韓国語)	3後		1		1							
環日本海諸国語演習Ⅱ(ロシア語)	3後		1			1						
ビジネスゼミナールⅠ	4前	1			5	6			1		退職による変更(後任公募中)(23) 昇任による変更(22)	
ビジネスゼミナールⅡ	4後	1			5	6			1		退職による変更(後任公募中)(23) 昇任による変更(22)	

	国際物流論 I	4前		1						兼1	
	国際物流論 II	4後		1						兼1	
	管理会計論 I	4前		1	1	1					昇任による変更(22)
	管理会計論 II	4後		1	1	1					昇任による変更(22)
	民法 I	4前		1	1						
	民法 II	4後		1	1						
	経営戦略論 I	4前		1		1					
	経営戦略論 II	4後		1		1					
	経営情報 I	4前		1	1						
	経営情報 II	4後		1	1						
	環日本海社会経済史 III	4前		1		1					
	環日本海社会経済史 IV	4後		1		1					
	ビジネス英語	4前		2						兼1	
	時事英語講読	4後		2						兼1	
	環日本海諸国語演習 III (中国語)	4前		2						兼1	
	環日本海諸国語演習 III (韓国語)	4前		2						兼1	
	環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	4前		2						兼1	
	環日本海諸国語表現 I (中国語)	4前		1		1					
	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	4前		1	1						
	環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	4前		1		1					
	環日本海諸国語表現 II (中国語)	4後		1		1					
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)	4後		1	1						
	環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	4後		1		1					
	環日本海諸国語表現 III (中国語)	4後		2						兼1	
	環日本海諸国語表現 III (韓国語)	4後		2						兼1	
	環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	4後		2						兼1	
	金融論 I	4前		1		1		1			後任補充による変更 (24) 退職による変更(後任 公募中)(23)
	金融論 II	4後		1		1		1			後任補充による変更 (24) 退職による変更(後任 公募中)(23)
専	インターンシップ	4前		2	1					(学外)	集中
門	卒業研究	5通	10		5 4	6 7		1			昇任による変更(22)
	流通システム論 I	5前		1		1					
	流通システム論 II	5後		1		1					
	ビジネス英語演習 I	5前		1						兼1	
	ビジネス英語演習 II	5後		1						兼1	
	時事英語演習	5前		2						兼1	
	ビジネス環日本海諸国語(中国語)	5前		2		1					
	ビジネス環日本海諸国語(韓国語)	5前		2	1						
	ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)	5前		2		1					
	時事環日本海諸国語(中国語)	5後		2		1					
	時事環日本海諸国語(韓国語)	5後		2	1						
	時事環日本海諸国語(ロシア語)	5後		2		1					
	海運論 I	5前		1	1						
	海運論 II	5後		1	1						
	保険論 I	5前		1		1		1			後任補充による変更 (24) 退職による変更(後任 公募中)(23)
	保険論 II	5後		1		1		1			後任補充による変更 (24) 退職による変更(後任 公募中)(23)
	ビジネスと法 I	5前		1	1						

ビジネスと法Ⅱ	5後		1		1							
経営管理論Ⅰ	5前		1			1						
経営管理論Ⅱ	5後		1			1						
経営科学Ⅰ	5前		1		1							
経営科学Ⅱ	5後		1		1							
環日本海社会地域経済論Ⅰ	5前		1			1						
環日本海社会地域経済論Ⅱ	5後		1			1						
英語圏異文化実習	2・3・ 4・5 5後		4							兼1	教育効果を考慮し、配 当年次を2・3・4・ 5に変更(23) 集中	
環日本海諸国異文化実習	3・4・ 5 5後		4		1	2					教育効果を考慮し、配 当年次を3・4・5に 変更(23) 集中	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 22	科目 69	科目 0	科目 91	科目 22	科目 69	科目 0	科目 91	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<商船学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数					専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目 航 海 ・ 機 関 共 通 科 目	船用機関概論 I	1前	1			1	1							教育体制充実のため教員を追加(22)
	船用機関概論 II	1後	1			1	1							教育体制充実のため教員を追加(23)
	海洋実習	1前 1通	1				1							教育効果を考慮し、開講時期を前学期に変更(22)
	情報処理 I	1後 1通		1			3 2	1		1			兼1	昇任による変更及び教育体制充実のため兼任講師を追加(23) 教育効果を考慮し、開講時期を後学期に変更(22)
	電気・電子工学 I	2前	1			1								
	電気・電子工学 II	2後	1			1								
	船舶安全学 I	3前	1					1						
	船舶安全学 II	3後	1					1						
	電子回路	3前	1			1								
	電気機器	3後	1					1					兼1	教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
	船舶工学 I	4前	1			1								
	船舶工学 II	4後	1			1								
	海事法 I	4前	1										兼1	
	海事法 II	4後	1										兼1	
	計測・自動制御工学 I	4前	1			1								
	計測・自動制御工学 II	4後	1			1								
	応用数学 I	4前		1		1				1				専任教員の死亡による後任補充(24)
	応用数学 II	4後		1		1	1							昇任による変更(23)
	インターンシップ	4前		2		1							(学外)	集中
	海洋科学概論	5前		1		1	1							昇任による変更(23)
	船舶工学特論	5前		1		1								
	航海科学	5前		1		1								
	海法特論	5前		1									兼1	
	船体管理特論	5前		1			1							
	航海特論	5前		1		1								
	制御システム特論	5前		1		1	1							昇任による変更(23)
	航海実務	5前		1						1				
	電気電子工学特論	5前		1		1								
	蒸気原動機特論	5前		1		1								
	生産システム工学	5前		1			1							
	熱機関工学 I	5前		1						1				
	熱機関工学 II	5前		1		1				1				専任教員の死亡による後任補充(24)
	伝熱工学	5前		1			1							
材料学特論	5前		1		1									
機関実務	5前		1						1 1			兼1	兼任教員の退職により専任教員を補充(24) 退職による変更(22)	
航海概論 I	1後	1			1									
校内練習船実習 I	1通	1					1			1		兼1	教育体制充実のため兼任講師を追加(23)	

航海コース
専門科目

航海概論Ⅱ	2前	1			1						
航海測位論Ⅰ	2後	1			1						
航海英語Ⅰ	2前 2通	1				1		1			教育効果を考慮し、開講時期を前学期に変更、教育体制充実のため教員を追加(23)
運用概論Ⅰ	2前	1			1	1					昇任による変更(23)
運用概論Ⅱ	2後	1				1					
校内練習船実習Ⅱ	2通	1				1		1	兼1		教育体制充実のため兼任講師を追加(23)
航海力学Ⅰ	2前		1			1					
航海力学Ⅱ	2後		1			1					
航海測位論Ⅱ	3前	1			1						
航海測位論Ⅲ	3後	1			1						
航海計測論Ⅰ	3後	1			1						
船体管理論Ⅰ	3前	1			1	1					教育体制充実のため教員を追加(24)
船体管理論Ⅱ	3後	1				2 1					教育体制充実のため教員を追加(24)
海上交通論Ⅰ	3後	1						1	兼1		兼任教員の退職により専任教員を補充(24)
実験実習Ⅰ	3通	3			5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
校内練習船実習Ⅲ	3通	1				1		1	兼1		教育体制充実のため兼任教員を追加(24)
情報処理Ⅱ	3前		1		3 2	1		1	兼1		教育体制充実のため兼任教員を追加(24) 昇任による変更(23)
商船実務	3後 3前		1		5 3	1 3		2 1			教育効果を考慮し開講時期を後学期に変更及び教育体制充実のため教員を追加(24) 昇任による変更(23)
航海学ゼミⅠ	3前		1		5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
航海測位論Ⅳ	4前	1			1						
航海計測論Ⅱ	4前	1			1						
船体運動論	4後	1			1						
海洋気象論Ⅰ	4前	1			1	1					昇任による変更(23)
海洋気象論Ⅱ	4後	1			1	1					昇任による変更(23)
海運論Ⅰ	4前	1				1				兼1	
海運論Ⅱ	4後	1				1				兼1	
海上交通論Ⅱ	4後	1								兼1	
実験実習Ⅱ	4通	3			5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
校内練習船実習Ⅳ	4通	1				1		1			
国際物流論	4後		1							兼2	
応用力学Ⅰ	4前		1		1	1					昇任による変更(23)
応用力学Ⅱ	4後		1		1	1					昇任による変更(23)
商船学演習	4前		1		5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
航海学ゼミⅡ	4通		3		5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
航法システム論	5前	1			1						
航海英語Ⅱ	5前	1				1		1			
卒業研究	5前	5			5 3	1 3		1			昇任による変更(23)
海事法Ⅲ	5前		1							兼1	
船舶機関実務	5前		1					1		兼1	退職による変更(22)

機 関 科 目	機 関 コ ー ス	校内練習船実習 I	1通	1			1		1	±	後任補充による変更(23) 退職による変更(後任公募中)(22)	
		航海概論 I	1後		1		1					
		機関英語 I	2前 2通	1						1 ±		兼任教員の退職により 専任教員を補充(24) 教育効果を考慮し、開 講時期を前学期に変更 (23) 退職による変更(22)
		工作実習	2通	2						2 ±		教育体制充実のため教 員を追加(23)
		力学 I	2前	1				1				
		力学 II	2後	1				1				
		校内練習船実習 II	2通	1				1		1	±	後任補充による変更 (23) 退職による変更(後任 公募中)(22)
		航海概論 II	2前		1		1					
		商船学演習	2後		1		3 4	2		1 2		兼1 兼2 兼1 専任教員の死亡及び兼 任教員の退職(24) 教育体制充実のため兼 任講師を追加(23) 退職による変更(22)
		内燃機関工学 I	3前	1			1	1				教育体制充実のため教 員を追加(24)
		内燃機関工学 II	3後	1			1	1				教育体制充実のため教 員を追加(24)
		工業熱力学 I	3前	1			1			1		教育体制充実のため教 員を追加(24)
		工業熱力学 II	3後	1			1			1		教育体制充実のため教 員を追加(24)
		材料力学 I	3前	1				1				
		材料力学 II	3後	1				1				
		情報処理 II	3前	1			3 2	4		1		兼1 教育体制充実のため兼 任教員を追加(24) 昇任による変更(23)
		実験実習 I	3通	3			3 4	2		1 2		兼1 専任教員の死亡(24) 退職による変更(22)
		校内練習船実習 III	3通	1				1		1	±	後任補充による変更 (23) 退職による変更(後任 公募中)(22)
		海上交通論 I	3後		1					1		兼1 兼任教員の退職により 専任教員を補充(24)
		商船実務	3後 3前		1		3 4	2		1 2		兼1 教育効果を考慮し開講 時期を後学期に変更及 び専任教員の死亡(24) 退職による変更(22)
		内燃機関工学 III	4前	1			1					
		内燃機関工学 IV	4後	1			1					
		蒸気原動機工学 I	4前	1			1					
		蒸気原動機工学 II	4後	1			1					
		補助機械工学 I	4前	1			±			1		専任教員の死亡による 後任補充(24)
		補助機械工学 II	4後	1			±			1		専任教員の死亡による 後任補充(24)
		パワーエレクトロニクス I	4前	1				1				
		パワーエレクトロニクス II	4後	1				1				
		工業材料学 I	4後	1				1				
		設計製図	4通	3			1			±		兼1 兼任教員の退職により 専任教員を補充(24) 退職による変更(22)
流体工学 I	4前	1			±			1		専任教員の死亡による 後任補充(24)		
流体工学 II	4後	1			±			1		専任教員の死亡による 後任補充(24)		

実験実習Ⅱ	4通	3			3 4	2		1 2		兼1	専任教員の死亡(24) 退職による変更(22)
校内練習船実習Ⅳ	4通	1				1		1	1		後任補充による変更 (23) 退職による変更(後任 公募中)(22)
機関学ゼミ	4後		1		3 4	2		1 2		兼1	専任教員の死亡による 変更(24) 退職による変更(22)
蒸気原動機工学Ⅲ	5前	1			1						
工業材料学Ⅱ	5前	1				1					
機関英語Ⅱ	5前	1						1		兼1	専任教員の退職による 兼任教員への変更(24)
卒業研究	5前	5			3 4	2		1 2		兼1	専任教員の死亡及び専 任教員の退職による兼 任教員への変更(24) 退職による変更(22)
船舶航海実務	5前		1			1		1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 航海コース 44	科目 32	科目 0	科目 76	科目 44 [0]	科目 32 [0]	科目 0 [0]	科目 76 [0]	
科目 機関コース 48	科目 27	科目 0	科目 75	科目 48 [0]	科目 27 [0]	科目 0 [0]	科目 75 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	航海コース、機関コース共に該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	航海コース、機関コース共に該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	本郷キャンパスの駐車場の整備に伴う減(22) 本郷キャンパスの駐車場の整備に伴う減(23) 駐車場の記入漏れ及び駐車場の新規整備に伴う増(22) 本郷キャンパスの駐車場の整備に伴う増(23)					
	校舎敷地	94,899㎡ 95,472㎡ 95,563㎡	㎡	㎡	94,899㎡ 95,472㎡ 95,563㎡						
	運動場用地	78,264㎡	㎡	㎡	78,264㎡						
	小 計	173,163㎡ 173,736㎡ 173,827㎡	㎡	㎡	173,163㎡ 173,736㎡ 173,827㎡						
	そ の 他	5,908㎡ 5,335㎡ 0㎡	㎡	㎡	5,908㎡ 5,335㎡ 0㎡						
	合 計	179,071㎡ 173,827㎡	㎡	㎡	179,071㎡ 173,827㎡						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	管理棟の改修に伴い一部解体撤去による減(22)					
		37,800㎡ 37,901㎡ (37,800㎡) (37,901㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	37,800㎡ 37,901㎡ (37,800㎡) (37,901㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	45室 46室 50室	演 習 室	52室 53室 47室	実験実習室	125室 121室 128室	情報処理学習施設	5室 6室 (補助職員 3人) (補助職員 2人)	語学学習施設	3室 (補助職員 0人)	講義室：学年進行等により4室減(23)、学年進行等により1室増(24) 演習室：高度化再編等により6室減(23)、学年進行等により1室減(24) 実験実習室：改修に伴う減(22)、高度化再編等により4室増(24) 情報処理学生施設：高度化再編により1室減(23)
	新設学部等の名称	機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス工学科、商船学科				室 数	139 137 139	室	本郷キャンパス環境棟改修に伴い、3室減(23)、射水キャンパス高度化再編より1室増(23) 高度化再編より2室増(24)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	図書、学術雑誌、視聴覚資料及び機械、器具：新規購入及び寄贈に伴う増(22) 電子ジャーナル：新規購入に伴う増(22) 図書、学術雑誌、視聴覚資料：新規購入及び寄贈に伴う増(23) 電子ジャーナル：新規購入に伴う増(23) 機械・器具は新規購入及び寄贈に伴う増(23) 図書、学術雑誌、視聴覚資料：新規購入及び寄贈に伴う増(24) 電子ジャーナル：パッケージの収容タイトルに伴う増(24)			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					[うち外国書]		
	冊	種	種	点	点	点					
	154,269 [16,136] 153,231 [16,101] 151,869 [16,011] (149,183 [15,870])	2,282 [301] 2,257 [300] 2,042 [298]	19,170 [4,337] 18,880 [4,277] 18,322 [4,269]	3653 3571 3543	509 470 417	0 0 (0)					
計	154,269 [16,136] 153,231 [16,101] 151,869 [16,011] (149,183 [15,870])	2,282 [301] 2,257 [300] 2,042 [298]	19,170 [4,337] 18,880 [4,277] 18,322 [4,269]	3653 3571 3543	509 470 417	0 0 (0)					
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大型閲覧テーブルから個人閲覧机(1人用)に変更したため(本郷キャンパス)(22)					
	3,289㎡	142 164		206,855							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				テニスコート数の修正による減(23)					
	4,611㎡	テニスコート11 武道場2, プール2, テニスコート12, 野球場2, 陸上競技場2, 弓道場1									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による		
		教員1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要											

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれて

いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設高専等の状況

大学の名称		富山高等専門学校							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
機械システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.05)	平成21年度	<本郷キャンパス> 富山県富山市本郷町1 3番地 <射水キャンパス> 富山県射水市海老江練 合1-2	
電気制御システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.02)	平成21年度		
物質化学工学科	5	40	—	200	準学士	(1.06)	平成21年度		
電子情報工学科	5	40	—	200	準学士	(1.02)	平成21年度		
国際ビジネス学科	5	40	—	200	準学士	(1.12)	平成21年度		
商船学科	5	40	—	200	準学士	(1.01)	平成21年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<機械システム工学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	4	1	3	14	0	6	6	0	2	14	0	
(5)	(6)	(1)	(2)	(14)	0	[0]	[+2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	

<電気制御システム工学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	6	0	1	13	1	7	7	0	1	15	0	
(5)	(8)	(0)	(0)	(13)	(1)	[+1]	[+1]	[0]	[0]	[+2]	[Δ1]	

<物質化学工学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	5	1	1	14	0	6	7	0	3	16	0	
(6)	(6)	(1)	(1)	(14)	(0)	[Δ1]	[+2]	[Δ1]	[+2]	[+2]	[0]	

<電子情報工学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	6	0	1	13	1	5	8	0	1	14	1	
(5)	(2)	(3)	(2)	(12)	(1)	[Δ1]	[+2]	[0]	[0]	[+1]	[0]	

<国際ビジネス学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	7	0	1	12	0	3	8	0	2	13	0	
(3)	(4)	(3)	(2)	(12)	(0)	[Δ1]	[+1]	[0]	[+1]	[+1]	[0]	

<商船学科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	7	0	3	17	2	7	7	0	6	20	1	
(5)	(9)	(0)	(3)	(17)	(2)	[0]	[0]	[0]	[+3]	[+3]	[Δ1]	

<一般教養科>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
16	13	3	0	32	0	15	18	0	0	33	0	
(16)	(14)	(6)	(0)	(36)	(0)	[Δ1]	[+5]	[Δ3]	[0]	[+1]	[0]	

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認可時 (20年12月)</p>	<p>1. 統合する両高等専門学校の教育研究資源の有効活用及び教育内容の整備に留意し、統合の趣旨・目的等が活かされるよう、両高等専門学校が連携して、開設に向けた諸準備（教育組織、教育課程の整備等）を円滑に進めるとともに、開設後は設置計画を確実に履行すること。</p>	<p>教育組織、教育課程の整備等について、統合の趣旨・目的等が活かされるよう、統合再編検討委員会（両校から選出された構成員）で開設に向け、諸準備を円滑に進めた。</p> <p>また、平成21年10月の開設後は、戦略企画会議等で戦略的な学校方針について検討し、運営審議会及び外部有識者による運営諮問会議における学校運営（年度計画等）に関する意見を学校運営に反映させている。</p> <p>教育課程等については、設置計画に基づき着実に実行するため、教務委員会で教育課程の実施計画を立案し、実施している。(22)</p> <p>今年度は設置後2年目であり、教育課程等については、引き続き設置計画に基づき着実に実行するため、教務委員会で教育課程の実施計画を立案し、実施している。(23)</p> <p>設置後3年目となる今年度も教育課程等については、引き続き設置計画に基づき着実に実行するため、教務委員会で教育課程の実施計画を立案し、実施している。(24)</p>	<p>今後においても引き続き、統合の趣旨・目的の達成に向け着実に設置計画を履行する。(22)</p> <p>今後においても引き続き、統合の趣旨・目的の達成に向け着実に設置計画を履行する。(23)</p> <p>引き続き、統合の趣旨・目的の達成に向け着実に設置計画を履行する。(24)</p>
	<p>2. 各地域ブロックの拠点として地域貢献や産学連携を行う地域人材開発本部等の各種センターを設置するにあたっては、高等専門学校の本分である学科の教育に支障がないよう、学科・専攻科・センターそれぞれにおける教職員の負担に留意すること。</p>	<p>地域人材開発本部を設置し、その中に地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターを置き、地域連携機能等の一層の強化を図るため、センター専任教員を配置している。</p> <p>また、専攻科を高度化・拡充し、科学技術の融合化・複合化に対応する獨創性に富み実践的な人材育成のため、専攻科専任教員を配置している。</p> <p>地域連携機能等の強化や専攻科の高度化・拡充などの活動は、全て本科教育の質の向上につながるものであり、これらの活動は、センター専任教員及び専攻科専任教員を中心に各学科及び一般教養科の教員が一体となって取り組んでおり、学科の教育に支障はない。(22)</p> <p>引き続き、センター専任教員及び専攻科専任教員を中心に各学科及び一般教養科の教員が一体となって取り組んでおり、学科の教育に支障はない。(23)</p> <p>3年目となる今年度においても引き続き、センター専任教員及び専攻科専任教員を中心に各学科及び一般教養科の教員が一体となって取り組んでおり、学科の教育に支障はない。(24)</p>	<p>地域人材開発本部の活動については、3センターの専任教員及び専攻科専任教員を中心に各学科及び一般教養科の教員が一体となって本科教育の充実、専攻科の高度化・拡充などに取り組むことにより、本科教育の質の向上につなげるとともに一部の教職員に負担が集中しないよう調整を行い、学科の教育に支障が出ないよう実施していく予定である。(22)</p> <p>引き続き、一部の教職員に負担が集中しないよう調整を行い、学科の教育に支障が出ないよう実施していく予定である。(23)</p>

設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	これまで本郷キャンパスに設置された学科では旧富山工専の入試制度（専願制）で、射水キャンパスに設置された学科では旧富山商船の入試制度（併願制）でそれぞれ入試を実施していたが、並行して入試制度の統一について検討を行い、平成24年度入試から本科の学力検査による選抜を県立高校等との併願制に統一し、実施した。

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>校長・副校長懇談会 校長・副校長・主事のキャンパス懇談会 校長・副校長・主事・学科長のキャンパス懇談会 戦略企画会議（議長：校長） FD委員会（委員長：副校長） 地域人材開発本部会議（本部長：校長） 戦略的専攻科企画会議（議長：副校長）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>校長・副校長懇談会：随時（教員3名） 校長・副校長・主事のキャンパス懇談会：隔週1回（教員5名） 校長・副校長・主事・学科長のキャンパス懇談会：毎月1回（教員8名） 戦略企画会議：毎月1回 FD委員会：随時 地域人材開発本部会議：毎月1回 戦略的専攻科企画会議：随時</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>校長・副校長懇談会：教員の資質向上に関する事項に関しては、教員評価と必要な場合の助言指導に関する事項 校長・副校長・主事のキャンパス懇談会：教員の資質向上に関する事項に関しては、教員評価と必要な場合の助言指導に関する事項 校長・副校長・主事・学科長のキャンパス懇談会：教員の資質向上に関する事項に関しては、教員評価と必要な場合の助言指導に関する事項 戦略企画会議：教員の資質向上に関する事項に関しては、教員評価と必要な場合の助言指導に関する事項 FD委員会：FD研修会等に関する事項 地域人材開発本部会議：センター専任教員に対する年度毎の教員個人目標申請及び活動実績報告、地域人材開発本部広報に関する事項 戦略的専攻科企画会議：専攻科専任教員に対する年度毎の教員個人目標申請及び活動実績報告、専攻科の広報に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員研修 ・ 教員相互の授業参観 ・ FD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員を対象に4月に副校長、教務主事、学生主事、寮務主事で実施
--

- ・ 全教員が参加し、教員相互の授業参観を実施（相互評価）
 - ・ FD研修会（両キャンパスの教員が参加）
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・ 新任教員研修
平成24年4月2日、3日の2回に分けて実施
高専機構及び本校の組織、教育指導、研究活動、教務関係、学生関係、寮務関係についての説明
新任教員6名参加
 - ・ 教員相互の授業参観
FD委員会が中心になり、1年間をかけて全教員が参加し、他の教員の授業参観（ピアレビュー）をし、相互に授業を評価

- ・ FD研修会（両キャンパスの教員が参加）
12月2日、6日の両日、メンタルヘルス、発達障害をテーマとして両キャンパスで参加可能なFD研修会を開催した。今回のFD研修会は「発達障害学生」に関する諸問題を主なテーマとしたもので、発達障害学生等の支援を行っている富山大学学生支援センター トータルコミュニケーション支援室から、発達障害に対する研究業績を有する教員を招聘し、講演会を実施することを通して、教員の能力向上を図った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生による授業評価アンケート、教員相互の授業参観（ピアレビュー）により、学生側、教員側の両面からの授業評価をとおして、今後の授業改善、教育方法の改善等に活用し、また、PDCAサイクルにより随時見直しを図っていく予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 各キャンパスでアンケート項目を決め、毎学期末に全てのクラスで学生による授業評価アンケートを実施し、授業改善の参考資料として活用した。
本郷キャンパスでは前期、後期にそれぞれ56科目抽出して、「学生による授業評価アンケート」を実施するとともに、全授業科目について「学生による授業点検アンケート」を実施した。
また、射水キャンパスにおいては、各教員が担当する科目から1科目を抜取調査し、その他の科目については一括調査により学生による授業アンケートを実施し、その結果は授業改善に対する取り組みの基礎資料としてJABEE等における審査にも活用している。
また、教務委員会において、これまでのアンケート項目を見直し、平成24年度から両キャンパス統一のアンケート項目による授業評価アンケートを実施し、授業改善に活用する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートについては、教務委員会でとりまとめ・内容を確認し、各学科等に通知し、授業改善に活用している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「環日本海地域の持続的社會を担う人材を育成する」という設置の趣旨・目的の達成に向けて、第1年次教育課程を計画通り実施しているところである。また、「教育研究を通して地域社會に貢献すること」という設置の趣旨・目的の達成に向けて地域人材開発本部を設置、また、専攻科と有機的に連携する組織「専攻科戦略室」を設置し、教育研究を通じた地域貢献の方策等を検討・実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成22年度に自己点検評価委員会の元に自己点検評価委員会WGを設置し、作成した自己点検評価項目チェックシートに基づき自己点検評価を行った。評価結果の公表時期については検討中である。

b 公表方法

- ・ 電子掲示板及びホームページ

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成17年度には富山商船高専が、平成19年度には富山工業高専が機関別認証評価（大学評価・学位授与機

構)の評価を受けた。

- ・富山高等専門学校は平成27年度又は平成28年度に機関別認証評価の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (提出後速やかに公表する。)